

【様式】

令和2年度 学校マネジメントシート

学校名 (桑名高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>普通科、理数科、衛生看護科、衛生看護専攻科および定時制課程を設置する本校の特色を生かし、「桑名から 強くはばたく 人づくり」を目指します。</p> <p>そのために</p> <p>① 地域社会や保護者の多様なニーズに応じて、桑員を支える学校の責務を果たします。</p> <p>② 課程、学科の特色を生かして、多様で魅力ある学校をつくります。</p> <p>③ 長い歴史と伝統を強みとして、公教育への信頼を一層向上させます。</p>
		<p>★桑名から</p> <p>① 桑員地域の中学生が最も憧れる高校</p> <p>★強くはばたく</p> <p>② 地球の未来への先駆者となる科学技術人材になれるよう、生徒が充実した学力や技能を獲得し、学ぶ意欲にあふれている状態</p> <p>③ 生徒が部活動などの自主的な活動を通じてリーダーシップと協調性を兼ね備えている状態</p>
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>★桑名から</p> <p>① 桑員地域の中学生が最も憧れる高校</p> <p>★強くはばたく</p> <p>② 地球の未来への先駆者となる科学技術人材になれるよう、生徒が充実した学力や技能を獲得し、学ぶ意欲にあふれている状態</p> <p>③ 生徒が部活動などの自主的な活動を通じてリーダーシップと協調性を兼ね備えている状態</p>
	ありたい 教職員像	<p>★人づくり</p> <p>④ 生徒の思考力・発信力を高め、豊かな人間性を育む教育実践を行っている状態</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>○生徒 学力向上・充実したクラブ活動・楽しい学校・希望進路の実現</p> <p>○保護者 社会性・安心安全・学力向上・クラブ活動・希望進路の実現・社会的自立・楽しめる学校 ・一人ひとりを大切にする学校</p> <p>○地域社会 地域の誇りとなるリーダーシップや協調性を持つ人材育成や社会貢献</p>	
	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>○大学 知的好奇心やコミュニケーション能力の高い生徒の育成</p> <p>○中学校 特色の明確化、中学校への情報提供</p> <p>○教育産業 ニーズの明確化</p> <p>○保護者 学校の現状・方針等の情報提供と参画の機会</p> <p>○地域社会 地域活動への参加</p> <p>○病院等 地域医療への関心</p>	<p>○大学 高大連携による情報提供</p> <p>○中学校 中高連携による意思疎通</p> <p>○教育産業 ニーズに合った情報提供</p> <p>○保護者 学校と連携した家庭教育</p> <p>○地域社会 地域の教育力の活用</p> <p>○病院等 学校との密接な連携</p>

(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ・諸課題の改善に向けてICTの活用をうまく進めて、時間的効率化を図ることであり、生み出された時間で何をするかを考えることが大事である。共通の活動目標を掲げるAKPと総務部がドッキングして何かをやっていくとよい。 ・外部と連携して力を借りることである。大学や地域人材だけでなく、卒業生の活用も重要。また、中学校に目を向けて中学生に対して在校生が学校を紹介していくことで生徒自身が自らの位置づけを明確にできるという学習効果がある。 ・学習者自身を活用することである。グループ学習の中で互いを支援し合うことで生徒は受け身の「存在」ではなく主体的な「学習指導の協力者」になり得る。 ・生徒指導で朝校門に立ち、生徒たちに挨拶や声かけをすることはとてもよい。声をかけられ、他者から存在を認めってもらうことは生徒たちの成長につながる。 ・SSHのねらいに「グローバル」を掲げているが、科学的研究だけではなく、もっと幅広いソーシャルな面も大事にしていてもらいたい。 ・看護職は厳しい現場である。就職して3年もしないうちに辞めてしまうような人も少なくない。学校で将来設計を見据える教育をしてもらうことを期待する。 ・LGBTについて考えるとともに、現在の制服について一考してもらいたい。 ・会議時間短縮の工夫の一つは、言いたいことを端的にわかりやすく伝えるよう心がけることである。 			
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">(4) 現状と課題</td> <td>教育活動</td> <td>今後は「カリキュラム・マネジメント」を視野に入れながら今一度「目指す学校像」「育みたい生徒像」「ありたい教職員像」等について再検討し、深めていくところから取り組んでいく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>学校運営等</td> <td>教育活動の充実を推し進める中で年々多忙化している現状から抜け出すためにも業務内容の精選等をして教職員が「働きやすさ」を実感できるようにしていくことが課題である。</td> </tr> </table>	(4) 現状と課題	教育活動	今後は「カリキュラム・マネジメント」を視野に入れながら今一度「目指す学校像」「育みたい生徒像」「ありたい教職員像」等について再検討し、深めていくところから取り組んでいく必要がある。
(4) 現状と課題	教育活動	今後は「カリキュラム・マネジメント」を視野に入れながら今一度「目指す学校像」「育みたい生徒像」「ありたい教職員像」等について再検討し、深めていくところから取り組んでいく必要がある。			
	学校運営等	教育活動の充実を推し進める中で年々多忙化している現状から抜け出すためにも業務内容の精選等をして教職員が「働きやすさ」を実感できるようにしていくことが課題である。			

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> ① 生徒の主体的で深い学びを実現し、確かな学力の向上を図るため、教科指導の充実と授業改善を進めます。 ② 入学から卒業までを見通した進路指導により、生徒の進路希望の実現を図るとともに、勤労観や職業観を身につけるキャリア教育を体系的に推進します。 ③ 他者を思いやる心、生命・人権を尊重する心、政治的教養、規範意識などを育む教育の充実に努め、生徒の豊かな人格形成に取り組みます。
	<ol style="list-style-type: none"> ① 教職員の助け合い・教え合いの文化を育み、教職員が一丸となって取り組む組織力ある学校づくりを推進します。 ② 学校・家庭・地域等との連携を強化し、本校の教育活動を広く地域に発信し、開かれた学校づくりに努めます。 ③ 総勤務時間縮減に向けた取組や教職員の満足度向上に向けた取組を通して、教職員が創造性を発揮し、情熱とやりがいを持って生徒と向き合い、指導に専念できる環境づくりに取り組みます。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
重点① 教科指導の充実と授業改善 重点② キャリア教育を体系的に推進 重点③ 豊かな人格形成	<p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に対応した「主体的な学び」を実現する教育活動の充実を図るために各教科の実践活動を支援します。 ・課題研究的な要素を取り入れた「探究Ⅰ～Ⅲ」、「研究Ⅰ～Ⅲ」の授業計画を、SSH部との連携をこれまで以上に深めて実践することにより、生徒間の対話をいっそう深めるだけでなく生徒自身のさらなる気づきも促します。加えて、思考力・発信力をより高め、協調性とリーダーシップを兼ね備えた人格形成も目指します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「探究」、「研究」の自主活動を通して、対話と気づきが大切であること実感させるとともに、「主体的な学び」を実現する講演会を実施します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「探究」、「研究」を振り返った生徒アンケートの中で、「この授業を通じて自身の成長が図られましたか」の項目で「はい」を選択する生徒の割合を80%以上にします。 <p><SSH部></p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球規模の社会問題を解決するプロセスを通じて、全ての生徒が高い志を持ち、様々な課題に対して自ら考え挑戦し、未来を切り拓く力(課題探究能力)を育成します。 ・地球の未来への先駆者となる科学技術人材を創出します。 (桑高SGPプログラム) <p>【活動指標】</p> <p>普通科は「探究Ⅰ」、「探究Ⅱ」理数科は「研究Ⅰ」、「研究Ⅱ」衛生看護科専攻科2年生は「看護の統合と実践」において課題研究に系統的に取り組み、SDGsの17の目標に対し生徒が主体的に課題を設定する活動を実施します。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい科学的発見について」、「協力して物事を解決する力の向上」、「楽しんで研究に取り組んだ」等の生徒の主体性に係る部分をアンケート調査し、肯定的な意見の合計割合が70%以上を目指します。 <p><1学年></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーションなどの初期指導と個人面談によるきめ細やかな指導を行うことで基本的な生活習慣と学習習慣の定着を図ります。また、学年集会や各種ガイダンスなどにより進路意識を育てます。 	(年度末および適宜記載)	◎
			◎

- ・定期考査や模試後には結果を分析し、学年集会などで生徒に伝えることで、学習への意識改善と指導の見直しを図ります。
- ・教科と連携し、時期に応じて成績層別指導を行い、学習意欲、進路意識を高めます。

【成果指標】

- ・学習状況調査を定期的実施し、学習習慣の定着を確認します。(平日2時間以上、休日4時間以上学習している生徒が、全体の50%以上になることを目指します。)
- ・11月実施の進路協議会で普通科と理数科生徒が各自のキャリア(職業選択)を視野に入れた的確な文理選択及び志望校選択が行われているかを確認します。
- ・12月実施の看護科の実習で、その取組の中から進路意識の高揚を確認します。

<2学年>

【活動指標】

- ・中核学年として、学校行事や部活動において中心的役割を自覚させ、責任感を持って行動できる判断力を育てます。また、分掌と連携して課題研究や進路研究を指導し、積極性や高い進路意識を育てます。
- ・2学年の課題である「学習の中だるみ」を最小限に迎えるために、学年集会、通信、個人面談等で学習方法の改善や学習時間確保を指導します。
- ・定期考査、模試等の成績分析から定着度が低い分野を把握し、指導の見直しを図ります。
- ・教科と連携して、適切な時期に成績層別指導を行い、学習意欲を高めます。

【成果指標】

- ・学習状況調査を定期的実施し、学習習慣の定着を確認します。(平日2時間以上、休日4時間以上学習している生徒が、全体の50%以上になることを目指します。)
- ・11月実施の進路協議会で普通科・理数科生徒の的確な科目選択および志望校選択が行われているかを検証することで、進路意識の高揚を目指します。
- ・看護科臨地実習における医療現場の学びから、進路意識の高揚を目指します。

<3学年>

【活動指標】

- ・大学入学共通テスト導入年に加え、新型コロナウイルス対策に追われ大変な状況下であるが、各教科担当や分掌の協力を得て、生徒一人ひとりの進路実現を援助できるよう細やかな情報提供、親身の個人面談、意気高揚の為の学年集会を実施します。また学年通信、「発見！大学レポート」に加え、掲示物や主任文庫の活用による積極的な情報提供に努めます。
- ・長引く臨時休業中も適切な課題を提供し、自学をサポートする授業動画の配信や紹介、また課題のオンライン配信や英作文個別添削など厳しい現状の中、できることを最大限に活用して教育活動の継続・維持に努力しています。

※

※

◎

※

※

※

・将来に向けて、地元志向、内向き志向に留まらずに幅広い視野に立って、専門分野への関心を高め、進路をその探究に直結できるよう情報提供することで、研究分野の確立を生徒に求めます。

・現状では不確定であるが、衛生看護科の6月、9月、10月の臨地実習を充実させ、各自の進路具現化に向けて、事前、事後の指導を計画的に実施します。また教科の実力向上を見据えて、細やかな指導を続けます。

【成果指標】

・授業や課外授業などで思考力、判断力の伸長に努め、昨年から進めて実施してきた校内外での研修・活動を通して身につけた知見と向上心を持った地域社会のリーダーを目指すべくその資質を身につけさせます。

・具体的な成果指標として、本校生徒の多くが志望している国公立大学の合格者が普通科、理数科の卒業者数の5割以上が目標です。

・衛生看護科生徒は、実施可能かは未定ですが、座学での充実に加え臨地実習中の生徒の様子や実習日誌、レポートの提出状況から職業観の涵養と進路意識の高揚を促します。

<理数科>

【活動指標】

・文部科学省より指定のSSH事業と連携しながら、継続的な教科指導や課題研究活動、校内外での研修活動などへの取組を通して、理系キャリア教育の充実を図ります。

【成果指標】

・授業や校内外の研修における理数科生徒の満足度の肯定的評価が80%以上になることを目指します。

<看護科>

・看護師国家試験合格100%を目標とし、思考力や判断力を養います。

・看護師としての社会人基礎力を養うために、社会情勢に目を向け、関心を持って学ぶ姿勢を養います。

・自主的、主体的な学習習慣を確立し、学び続ける姿勢を育て学力の向上・定着を図ります。

【活動指標】

・日常から思考や判断プロセスを問うような学習課題を提示し、単純想起型の知識から、自らの思考の基で判断する機会を各科目から体験します。

・産業教育における事業、臨地実習施設行事、ボランティア行事等、積極的に参加し、現場体験に基づく気づき等を大切にします。

・専門領域の充実と、職業観育成のために外部講師を招いてキャリア教育の充実を図ります。

【成果指標】

・学習課題の充実を図り、多方面からの情報収集、科学的な根拠づけ、倫理的配慮に基づいた内容であるかを評価します。

・学習課題の充実を図り、期日厳守生徒の割合が100%になることを目指します。

- ・行事の参加後は必ず振り返りシートを記入し、体験をもとに次なる課題を見いだせるようにします。

<総務部>

【活動指標】

- ・人権便りの年5回以上の発行、人権講演会や人権LHRの実施を通して、①差別に気づく豊かな心を育みます。②人権問題を仲間と共に学び、お互いの気持ちを理解し合い、認め合えるようにします。③問題解決やよりよい方向を目指して、協調性と積極性を持って取り組めるようにします。

【成果指標】

- ・人権講演会、人権ロングホームルーム後の感想、アンケートにおいて、肯定的な意見、感想などが95%以上を目指します。

<生徒指導部>

- ・心身の成長期にふさわしい基本的な生活習慣を確立させます。また、自主、自律した社会生活が送れるよう高校在学中に指導するとともに、交通事故の防止、社会や時代の変化に伴う様々なリスクに対する危機管理能力を身につけさせます。

【活動指標】

- ・平常授業時には毎朝8時から校門（正門、北門）にて挨拶指導、服装指導、遅刻指導、自転車通学生の安全指導を行い、社会や学校の規則、マナーを守る習慣を身につけさせます。
- ・校内では挨拶の励行、身だしなみを整える「Formal Week」を月に1回（5日間）実施し、品格を備えた桑高生を育みます。同時に、通学路にて交通安全指導を行い交通事故防止や交通ルールを厳守するよう指導を行います。そして年3回全職員体制で頭髪服装指導を実施し、身だしなみを整える指導を行います。
- ・月間生活努力目標を設定し、生活の基本様式（身だしなみ、正しい規範意識、挨拶、いじめ防止など）を身につけさせ集団の中で生活できる能力を育てます。また全教員で共通理解を持って一貫した生徒指導を行います。
4月、11月はいじめ防止強化月間とし、ピンク色の物を職員及び生徒が身につけていじめ防止を啓発していきます。
- ・いじめアンケートを年3回（7月、12月、3月）実施して、いじめの実態把握に努めます。

【成果指標】

- ・式典や集会等はもちろんのこと、日常的に身だしなみ（正しい制服の着こなし）を整えさせることを最大の目標とします。特に女子生徒のスカート丈においては適正な長さ（膝の真ん中より下）での着用を定着させることを重点課題とします。
- ・制服検討委員会を立ち上げて、今後の桑名高校の制服について意見集約と議論を行い、新制服について検討を進めます。

<進路指導部>

- ・新型コロナウイルス流行の中で、内容などを精査しながら進路情報に提供し、生徒や保護者の不安感を解消できるように努めます。

◎

◎

	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインに基づいたコース選択や志望校の決定のための取り組みを行います。 ・大学入試共通テスト(以下「新テスト」)の導入など受験環境の変化の対応に向けた体制づくりを行います。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内大学説明会の充実を図ります。 ・キャリア教育の視点からの進路指導を行います。 ・難関大の中でも希望者が多い名古屋大学への進学対策講座「名大チャレンジサポート」を実施します。また、今年度は3年生で医学部志望が多いことから、「医進対策講座」の充実をはかります。 ・受験環境の変化についての情報を教職員や保護者に整理して伝えるとともに、変化の対応に向けた体制を整備します。 ・新型コロナウイルス流行により中止になった校内行事やオープンキャンパスに代わる取り組みを行うとともに、情報もしっかり精査して生徒・教師・保護者に提供できるように努めます。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート結果において「満足」への回答が7割以上。 ・国公立大学現役合格者数が、普通科，理数科卒業者数の4割以上にします。→ 過去7年連続達成。 ・名古屋大学合格者数が現浪合わせて15名以上。 ・難関国立10大学と医学部の現役・浪人合格数が20名以上。(昨年度17名) ・3年生4月調査の第1志望校に合格の生徒が普通科・理数科卒業者数の2割以上になるように努めます。とくに難関大や医学部志望者は、実現するために粘り強く(浪人覚悟も視野に入れて)努力する姿勢を養います。 ・今年実施の新テストに向けて、読解力，分析力，判断力を養成するための授業実践例などの情報を提供します。 <p><定時制 学習指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に対応した「主体的な学び」を実現するための教育活動に取り組みます。 ・キャリア教育を視野に入れた「総合的な学習の時間」の内容の充実を図ることで、生徒間の対話を深め、「気づき」を促進します。また、限られた時間の中で様々な体験・経験をすることで、自己肯定感の涵養、生徒の持つ思考力・発信力の向上、協調性とリーダーシップの育成に取り組みます。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生：基本的生活習慣の確立 2年生：進路実現に向けて勤労と学業の両立 3年生：進路実現に向けて自己啓発 4年生：コミュニケーション能力の向上と進路実現に向けて自身で行動する力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・1，2年において、国語，数学，英語の3教科で習熟度に応じた特別授業を実施し、基礎学力の定着と向上を図り、外国籍の生徒についても日本語指導を踏まえ取り組みます。 		<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
--	--	--	---

【成果指標】

- ・生徒満足度 80% を目指します。
- ・基礎学力の定着について、D3ゾーンからの脱出を目指します。

【活動指標】

- ・生徒の「生きる力」醸成のために防災・環境・安全・健康・人権等に関する総合学習を年間 35 時間以上実施します。

【成果指標】

- ・生徒満足度について 4 段階で A、B 合わせて 90% 以上を目指します。

<定時制 生徒指導>

- ・心身の成長期にふさわしい基本的な生活習慣の確立を目指し、自律した生活が送れるように指導を行います。

【活動指標】

- ・無断遅刻・無断欠席をなくし、生徒指導案件 5 件以下を目指します。
- ・挨拶運動・誰もが気持ちよく挨拶できる雰囲気づくりを確立します。
- ・校則はもちろん、社会のルールを厳守するよう指導を行います。
- ・生活全体を指導できるよう努めます。

【成果指標】

- ・5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を徹底的に指導します。
- ・ABCを確実にできるように指導します。
 - A 当たり前のこと
 - B 馬鹿にしないで
 - C ちゃんとする
- ・連絡先など各諸事情の報告を徹底指導します。

<定時制 進路指導>**【活動指標】**

- ・生徒の実態に応じた進路指導を実施し、労働に対する意欲を持たせるとともに、主体的に進路を選択できる力を身につかせます。
- ・進路実現に向けたキャリア教育を実施します。
- ・自分探しによる新規開拓を行わせます。
- ・外国籍生徒の就労支援を行います。
- ・大学専門学校等への進学指導を行います。

【成果指標】

- ・生徒の有職率 80% を目指します。
- ・卒業後の進路未定者を 0 人にします。

◎

改善課題

(年度末に記載)

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>重点① 組織力ある学校づくり</p> <p>重点② 開かれた学校づくり</p> <p>重点③ 指導に専念できる環境づくり</p>	<p><総務部></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループウェアの活用を呼びかけ、朝の打ち合わせや会議時間の短縮に取り組みます。 企画委員会を通して分掌間の連携を図ります。 同僚と相談しながら仕事を進めていける職場づくりに取り組みます。 マネジメント委員会と連携をとりながら、学校行事の見直しや業務内容の精選を図り、勤務時間の縮減・教育内容の充実につながるよう取り組みます。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の打ち合わせの全体連絡が8時25分までに終わるようにします。 総務部が関わる会議が1時間以内に終了するようにします。 職員満足度調査の人間関係の項目、「職員間の対話は活発に行われていますか」「同僚と相談しながら仕事を進めていく体制はできていますか」の数値3.0以上を目指します。 職員満足度調査の職場環境の項目、「仕事が精査されてきたという実感はありますか」の数値2.5、定時退校日に定時退校できましたか」の数値3.0以上を目指します。 <p><AKP></p> <p>(AKP = 「明るい桑名高校プロジェクト」委員会より)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員間のコミュニケーションをより活発にし、目指す学校像実現に向けたアイデア、及び業務内容の精査に関する意見を出し合える環境をつくることで、仕事を楽しく感じられる職員連携を構築し、多忙感の解消を目指します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員満足度調査の重点項目、「職員間の対話は活発に行われていますか。」の数値3.0以上を目指します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを活発にするような企画運営を行い、多忙感や負担感を解消します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末に行う職員満足度調査において、平均数値が2.9以上になることを目指します。 <p><事務部></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒や教職員が安全で快適な学校生活を送れるよう、施設整備等の点検・改修を行い、学習環境の整備を行います。 	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>◎</p> <p>◎</p>

- ・予算が伴う要望事項に対して迅速かつ丁寧に対応することにより、学校の活性化を支援します。
- ・コンプライアンスを徹底するとともに、チェック機能の強化を図ることにより、適正な事務処理を行います。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策を的確に遂行します。
- ・働き方改革につながる取組を実施します。

【成果指標】

- ・消防設備等の点検を行い必要な補修を行います。
- ・老朽化している本校校舎の長寿命化改修工事を実施します。
- ・校内の予算要望項目を広く聴き取り、対応します。
- ・毎週事務室の打合せを実施し、業務の進捗状況等情報共有を行うとともに、コンプライアンス研修を年3回実施します。
- ・校内の消毒作業を毎日実施します。
- ・年休を前年度以上に取得し、時間外勤務を前年度未満とします。

<全体>

【活動指標】

- ・県立高等学校活性化計画に基づき「主体的で深い学びに協働して取り組む教育の充実」「カリキュラム・マネジメントを取り入れた学校教育の改善」「ICT活用による学びの充実」「大学等と連携した教育の推進」「定時制教育の充実」等に組織的・継続的に取り組みます。

【成果指標】

- ・生徒アンケートの「授業理解」「進路指導の充実」「教員との対話」の肯定的評価を80%以上とします。
- ・グローバル人材育成に向けて「ユネスコスクール」への加盟申請を引き続き行います。

【活動指標】（ ）内は前年度実績

- ・教職員が働きやすい環境づくりを推進するため、総勤務時間縮減の取組として、以下の3項目に取り組みます。①定時退校日を月1日実施し達成率75%以上（74.4%）、②部活動休養日を週1日以上設定し設定率98.5%以上（98%）、③1時間以内に終了する会議75%以上（70.4%）を目指します。

	<p>【成果指標】（ ）内は前年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働時間を5%程度の削減目指し、平均23時間/月とします。(平均25.0時間/月) ・休暇取得日数の一人あたり年間平均日数が20日以上を目指します。(昨年:21.3日、一昨年17.2日) ・年360時間を超える時間外労働者数0人、月45時間を超える時間外労働者の延べ人数0人を目指します。 		
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	(年度末に記載)
----------------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	(年度末に記載)
<p>学校運営についての改善策</p>	(年度末に記載)